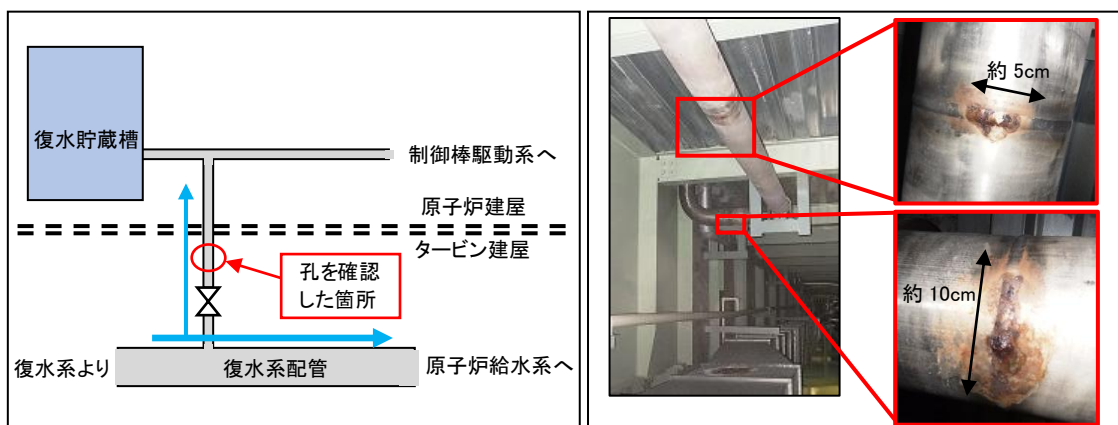


浜岡原子力発電所 5号機 タービン建屋内の連絡配管の溶接部において 確認した微小な孔について

2017年2月1日

発生号機	5号機(施設定期検査中) タービン建屋(放射線管理区域内)
発生年月日	2017年2月1日
状 況	<p>2017年1月30日に5号機 タービン建屋地下1階において、復水系(注1)と復水貯蔵槽(注2)をつなぐ連絡配管(注3)の溶接部2箇所が変色していることおよび変色部に水滴が付着していることを当社社員が確認しました。</p> <p>このため、本日、当該箇所について点検をおこなったところ、微量の水が変色部からにじむことを確認したため、配管の溶接部を貫通する微小な孔があると判断しました。</p> <p>今後、当該配管の水抜きをおこなったうえで原因調査および当該箇所の補修をおこなってまいります。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	運転情報「表 2-10 配管検査において、配管の肉厚が必要最小厚さを下回っていることを確認したとき。」に該当します。



システムイメージ図

孔を確認した配管溶接部の写真

- 注1 復水器で凝縮された水を原子炉給水系に供給するための設備であり、主な機器としてポンプ、復水器から構成されます。
- 注2 運転に必要な水を貯蔵するタンクであり、非常用炉心冷却系の水源としても使用されます。
- 注3 復水器の水位を調整するため、復水器の余剰水を復水貯蔵槽に送る配管です。

以上